

全員協議会 会議録（要点筆記）

平成30年9月6日（木）

午前11時00分 開会

午前11時23分 閉会

場所： 全員協議会室

〔報告案件〕

1 常滑市・半田市医療提供等協議会について

竹内甲司病院事務局長：資料に基づき説明

中川健一議員：そのときの議論のことでどういうふうを考えているかをお尋ねします。一つ目は第2回のときの医療提供体制等協議会のときに常滑市の副市長さんが、今のやり方、プロセスに問題があると、つまりここで決める前に市民に問うた方がいいのではないかと、そのようなご指摘がありましたけども、これに対してはどのように対応していくというように考えているのでしょうか。

竹内甲司病院事務局長：もう少し常滑の方とお話しをして、どのタイミングで、どのようにやるかということを協議しているところでございます。

中川健一議員：それはいつ頃わかるのでしょうか。

竹内甲司病院事務局長：第3回のときにはなんらかの方向性をお知らせしたいと思いますが、協議の行方によってはそのときにはお話しできない可能性もあるかと思っています。

中川健一議員：もう一つですけれど、第2回の議論のときに半田市と常滑市だけで、この問題を話していてよいのかという議論があったかと思っています。その中には、半田の副市長さんが知多半島中央病院をつくろうということで方向性はよいかとそういう問いかけもあったかと思いますが、半田市、常滑市以外の周辺自治体をどのように巻き込むというふうに今考えているのか教えていただければと思います。

竹内甲司病院事務局長：まずは常滑と半田がどうしていくのかというところを固めるのが先かと思っています。その上で周辺の市町にも声をかけさせていただきたいと今は思っています。

中川健一議員：具体的には周辺市町にはちゃんと声をかけて、例えば繰入金の問題だとかいろんな問題もきちんと話をしていくつもりということでもいいのでしょうか。

竹内甲司病院事務局長：そのとおりです。

新美保博議員：若干確認をしたいと思います。この2回目の協議会をもって、一番後ろのページでいいのですが、作業部会からの提案ここでこの方向性が出たと理解をしているのですが、要は経営統合し、地方独立行政法人のもと病院を運営していくのだというのが方向、この方向で進んでいくのだということだと思う。3回目の協議をするにしてもこの方向はあと何回続くのか、例えばこの方向ではないという方向にまた変わるということは多分ないと思うのです。この方向でいくのだと言ったら、逆に言うと具体的にどういうふうに進めていくことになるのか、今はどういった状況になるのですか。

竹内甲司病院事務局長：第3回でこのような提案をさせていただいて、委員の皆さまから大きな異論というのはありませんでしたけれども、では実際具体的に統合、独立行政法人化するにあたって、本当にこれは実現できるのかというところを作業部会の方で今ひとつひとつ確認をしながら、それから第2回的时候可以こんな数字を出してくれという要望がございましたので、そういった数字なども確認しながら、実際本当にこの方向性で実現できるのかというところを今詰めているところでございます。ひょっとしたら、難しいという結論に至る可能性も今のところゼロではないというふうに思っています。

午前 11時23分 閉会